

第1章 概要

1 管内の概要

東濃保健所の管内は、多治見市、瑞浪市、土岐市の三市からなり、岐阜県の東南部（東濃地域西部）に位置し、面積は382.25 km²（県土の3.6%）、人口は209,441人（平成25年10月1日現在、県人口の10.2%）である。気候は温暖であるが、多治見市では、その年の国内最高気温を記録することもあるなど、夏の暑さで有名となった地域でもある。

管内の中央部を東西に土岐川が流れ、これに沿ってJR中央本線があり、この沿線に市街地が形成されている。

交通の状況は、JR中央本線主要駅を基点として各地に路線バスが走り、居住するには環境もよく比較的良好な地域である。道路網は管内の中央部を東西に中央自動車道、国道19号、南北に東海環状自動車道、国道21号、国道248号が、さらに南部には国道363号がある。

名古屋市や豊田市へのアクセスが容易で交通の便が良いことから、経済的、文化的な交流が盛んである。南部・北部の地形はほとんど丘陵地帯で耕作面積は少ないが、美濃焼の原料である陶土、珪砂等が古くから採掘され陶磁器文化、陶磁器産業が発展してきた。「美濃焼」ブランドで全国に知られ、著名な芸術家を輩出している。